

2015年2月10日

調査報告のデータ非公開の措置について

元・大阪産業大学経済学部教授 齊藤日出治

「日本軍による海南島の侵略犯罪に関する調査報告—2011年2月25日—3月4日」『大阪産業大学論集』第14巻第1号，2013年
「日本軍統治下の海南島における侵略犯罪の調査報告」『大阪産業大学経済論集』第15巻第1号，2014年

上記の二編の調査報告は、わたし自身もそのメンバーである州鉦山の真実を明らかにする会と海南島近現代史研究会という民衆運動団体が10数年にわたって蓄積してきた活動を基盤にしており、その蓄積を踏まえて齊藤が科学研究費を申請し採択された調査活動の成果報告です。

日本が軍事占領下で海南島の現地住民にもたらしたおびただしい被害の実態を被害者から直接に聞き取るという貴重な報告です。

ただし、掲載に当たって、聞き取りをした方々の実名を掲載しており、大学の論集に掲載するに際してはそれでよいと判断したのですが、データベースで不特定多数に公開された場合、不測の事態が生ずるのではないかという懸念を刊行後に抱くようになりました。

さらに、この調査報告は齊藤個人の名前で公表されているため、この調査活動が広範な民衆運動のネットワークに支えられているにもかかわらず、科学研究費の成果活動として公表することで、それが齊藤個人の研究活動であるかのような誤解をあたえる恐れがあることに気づきました。データの不特定多数に対する公開によって、そのような誤解が広がることは避けたいと考えます。

以上の理由から本学会の編集委員会に、CINIIのデータベースでこの二編の調査報告を非公開にする旨のお願いをして、このたび承認されましたので、ここに報告をさせていただきます。

以上